

越谷市 手をつなぐ育成会だより やまびこ

編集 越谷市手をつなぐ育成会
 会長 高野 淑 恵
 〒343-0021 越谷市大林235-9
 TEL・FAX 048-977-1908
 発行 公益社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会
 理事長 高野 淑 恵
 〒330-0063 さいたま市浦和区仲町14-6
 ハウス第五仲町101
 TEL 048-833-0444
 FAX 048-833-0400
 発行日 令和4年9月30日
 購読料 20円は会費に含む



『こめわせに生きて』

越谷市手をつなぐ育成会 会長 高野 淑 恵

平素よりご支援ご協力戴いております皆様、誠に厚く御礼申し上げます。

感染者数はかなり下がってきましたが、油断することなく、コロナが終息するまで感染対策を続けましょう。

さて、コロナ禍でおうち時間が多くなり、犬や猫を飼う人が増えました。

「かわいいー飼いますーは迷惑です」とテレビでも放映されていましたが、その通りです。犬や猫も人と同じように怪我もするし病気にもなります。高齢化してくれば、食事や部屋の温度などの環境整備も必要となります。どんなにかわいがっても、生きているものにはいつか死が訪れます。お子さんが「ほしいー」と言って飼うのであれば、毎日世話をすること、元氣なときも具合が悪い時も、最期のお別れの時も、目を背けずに寄り添うことをお子さんと約束してください。失って悲しいと思つ心を体験することは、その子の情緒を豊かなものに育てます。傷みと優しさをすることは、人として生きていくうえでとても大切なものです。

さて、そんな訳で動物病院は大賑わい입니다。いろいろな人がいろいろな動物を連れてきていて、その人たちにとって、動物たちは「ペット」ではなく「家族」なのだなぁと感じます。

先日、うちのねこさんと動物病院に行ったとき、待合室に置いてある本を眺めていたら、面白い本がありました。『幸せなインコの育て方・暮らし方』『りっぱな犬になる方法』

『幸せなインコ』を想像すると楽しくなりますね。犬は、「立派な」犬になることを期待されているのですね、ちよつとかわいそう…。ねこには、そういう本がないのです、ねこは好き勝手に生きているからかなと…。インコに限らず、この世に生まれてきた命は、すべて奇跡であり貴重な宝です。(「キブリだけは除外!」)

障害があつても、みんな幸せに生きてほしいと私たちは願います。そのための世の中の仕組み作りがなかなか追いつかず、人との関係にも悩んで、がっかりして眠れない夜に、ひっくり返ってグーグー寝ている我が家のねこを羨ましく思つたりもします。

そんなときによく思い出す元利用者さんがいます。高齢の親が突然倒れ、家庭での生活が急にできなくなり、いきなり遠い遠い施設に入所してしまいました。申し訳ない言い方ですが、「両親は本人のためにならないくらい溺愛されていたので、気軽に顔を見に行くこともできない遠方の施設

に入れてしまったことに私はとても驚きました。本人にしてみれば、いきなり冷たい水の中に突き落とされたようなものです。どうしているかなとずっと気に掛かり、いつであつたか、施設長に尋ねました。施設長は「思ったより落ち着いて生活しているようですが、時々、玄関の所に行つて(お母さん、来ないかな)というふうになっているそうです」と教えてくれました。胸が傷みました。なぜ急に自分はその場所に来ているのか、全く分からないままだったでしょう。お母さんを大好きな人でしたから、玄関から見える遠い道の向こうから、お母さんが迎えに来てくれることをずっとずっと待っているのだらうと思うと涙が溢れます。彼の姿が、まざまざと目に浮かびます。彼のために何もできなかった非力な自分を思い知ります。幸せに生きてね、と祈ることしかできません。

家以外の場所でも過ごす、家族以外の人と過ごす体験は大事です。年に2回、施設では宿泊体験を事業として行なってきました。コロナのせいで、この3年ほどは全く宿泊に行かれませんが、体験することが何よりも「生きていく力」になっていきます。来年の春には、大きな荷物を持って、嬉しそうに出かけていく私たちの姿をぜひ見たいと願います。

千草園だより

ようやく秋の気配を感じるこの頃となりました。終わりの見えない戦いが続いておりますが、皆さん元気に活動を頑張っています。今回は7月から9月までの行事と日常の活動や作業風景等をお伝えしたいと思います。



【七夕飾り】

七月七日(木)に、七夕飾りを行いました。短冊には、家族の健康を願う方、ストリートに好きなメニューを書く方、将来の夢を願う方、皆さん思い思いの願いを短冊に込めて飾りました。



【お楽しみ会】

七月二十九日(金)にお楽しみ会を行いました。午前中は会場装飾チーム、皆のお弁当を取り

に行く出前チーム、午後のおやつ作りのパティシエチームに分かれて活動し、午後はまた工作グループ、ドライブグループに分かれてお好みの時間を楽しみました。



【夏祭り】

八月二十六日(金)に千草園ミニミニ夏祭りを行いました。今年も残念ながら盛大に、とはなりませんでしたが、越谷西特別支援学校の先生方や実習生と一緒にグループに分かれて準備。太鼓やミニミニやぐらを手作りし本番では、やぐらを囲んで皆で盆踊り♪大いに盛り上がりました。模擬店は、フランクフルト、フライドポテト、ポ



ップコーン、かき氷です。中でもかき氷が一番人気で、皆さん「おかわり」していました。祭りの最後はプロシエクターによる『バーチャル打ち上げ花火』で締めくくりました。「夏も終わり、また来年だね」と、しみりしていた方も…。また来年お楽しみに！



【レクリエーション】

九月十四日(水)のレクリエーションは『パワースポット巡り』第一弾として初詣でお馴染みの「久伊豆神社」に行ってきました。平日の境内は人混みもななく、ゆっくりお参りと散策する



事が出来ました。「コロナが収まりますように」「コンサートに行けますように」「元気に過ごせますように」。皆さん神妙な表情で手を合わせていました。



【日中活動の様子】
受注作業は玩具の袋入れやシール貼り、洗剤の缶入れ等を行っています。また、定期で注文いただいたいておりますクッキー作りも頑張っています。



(西間庭)

野の花 だより

朝晩、過ごしやすい日が続き、秋の訪れを感じさせられると思いきや残暑を思わせる厳しい日差しが照りつける等、体調管理の難しい毎日が続いていますね。そんな暑さにも負けず過ごした、野の花の皆さんの様子をお届けします。



〈グループ別外出〉

7月4日(月)は、川口グリーンセンターに行ってきました。お昼は華屋与兵衛のお弁当をテイクアウトし、公園内のうどん屋さんのテラスをお借りして、昼食をとりました。お天気が心配されましたが、皆さんの日頃の行いが良いのか、昼食後、好天に恵まれ、のんびりと散策する事が出来ました。

7月8日(金)は、川口のスキップシティに行ってきました。お昼は(とんでん)に寄り、久しぶりの外食を皆さん満喫していました。午後はスキップシティの科学館を見学し、色々な装置に興味津津の様子で皆さん、真剣な眼差しで見学されていました。



8月は、20日(土)の通所日に久しぶりに調理実習を行いました。今回のメニューは「サラダ蕎麦」。夏野菜をふんだんに使い、ヘルシーにお蕎麦をいただきました。久々の調理実習でしたが、皆さん上手に野菜を千切りにしてくれたり、細かく切ってくれるなど腕前も衰えてはいませんでした。



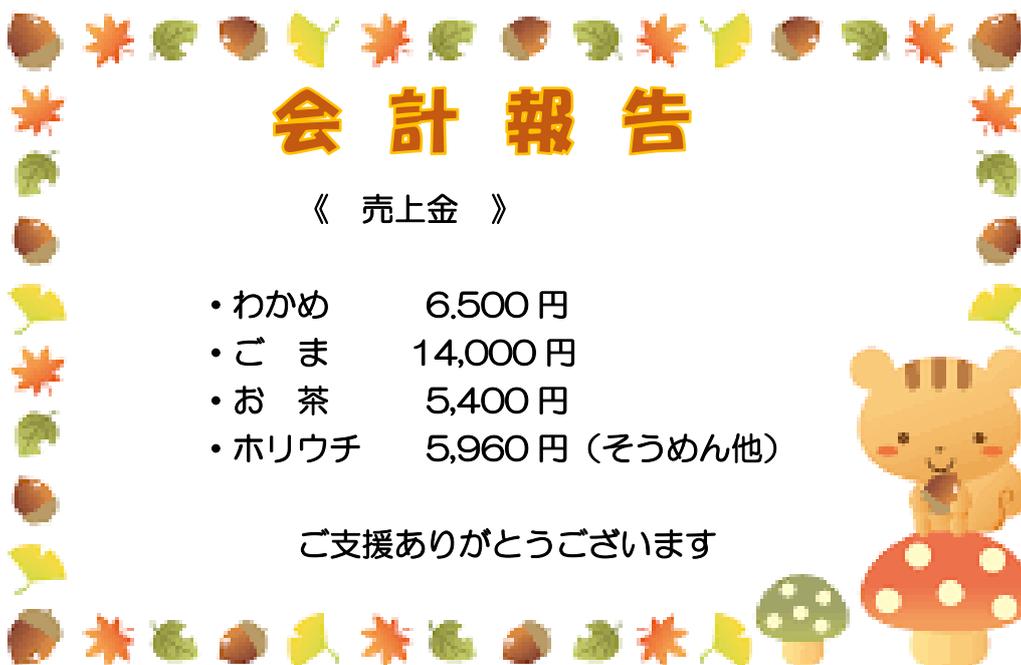
8月26日(金)は、夏恒例、夏祭りを行いました。午前中はみんな、飾りつけやヨーヨーを準備したり、ポップコーンを仕込んだりと皆さん、お手伝いをしてくださいました。午後は夏祭り本番。まずは魚釣りゲームや輪投げと、白熱のバトルを繰り広げました。その後はお楽しみタイム！かき氷やフルーツ、ポップコーンなどで、お祭り気分を楽しみました。



9月9日(金)は、お楽しみ会で、バーベキューを行いました。午前はお肉の買い出しに出掛けたり、食堂でサラダの調理や、下準備を行いお肉が到着したところで、バーベキュー開始です。皆さん、焼き立てのお肉を口いっばいにほお張り、満足そうにされていました。午後は、アイスクリーム作りを行いました。氷と塩の入った袋の中にアイスの原液を入れて、10分ほど振ったり揉んだり。あつという間に、アイスの完成です。皆さんきよとんと、されていましたがアイスのお味は美味しかったです。味しかったです。



「張ヶ谷」



会計報告

《 売上金 》

- ・わかめ 6,500円
- ・ごま 14,000円
- ・お茶 5,400円
- ・ホリウチ 5,960円(そうめん他)

ご支援ありがとうございます



千草園クッキーご紹介

千草園クッキー ご購入
ありがとうございます

小林商会 様
中村 甫尚 様

◇◇ 編集後記 ◇◇

この夏、自分には生涯縁がないと思っていた「オンライン」研修を体験しました。マイク付きイヤホンを早々と購入(アイテムから入るタイプです)しかし、右も左もわかりません。周囲のご協力と励ましのおかげで、何とか終了することができました。「案ずるより産むが易し」の心境には、とても至りませんが、時代の流れを強烈に体感した時間でした。けれども、じかに講師の先生のお話を皆さんと聴きたいと思うのは、昭和の人間だからでしょうか。(猪鼻 孝子)



* 1袋 5枚入り 100円(税込み)

プレーン・チョコ・ごま・mix

* ご進物用 ラッピング承ります

* 大量のご注文は、2週間前までに
お電話お願いいたします

* 市内・近隣の方 お届けもできます

ハロウィン・クリスマスなどイベントにも
ぜひ、ご利用ください

* お問合せ・ご注文は

千草園 048-971-7351

にしまにわ
田中・西間庭まで